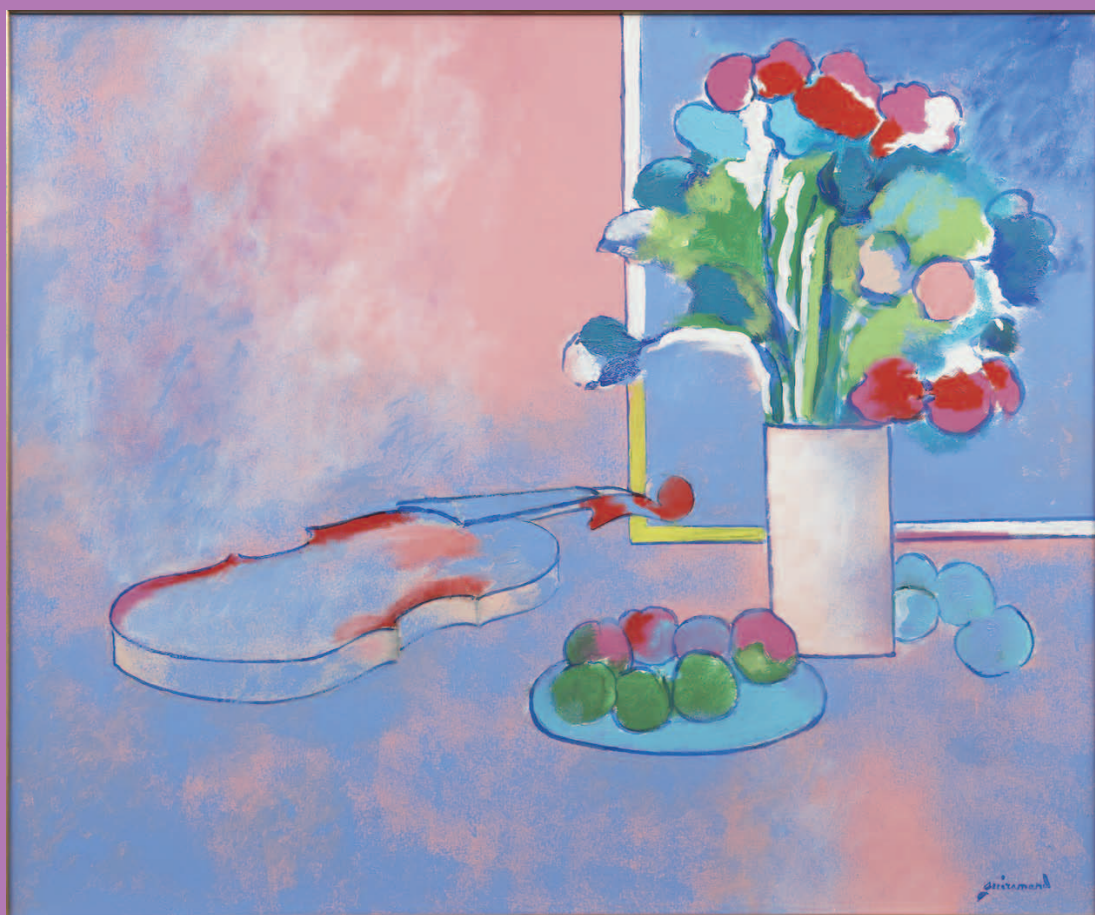


# Salon

Vol.123 2019年11月 冬号



ホール3F 壁画 ポール・ゴッアマン作「花とヴァイオリン」

CONTENTS

- 01 Prime Interview — 朴葵姫
- 03 Phoenix Presents — 2020年度 ティータイムコンサート  
ジョヴァンニ・ソッリマ チェロリサイタル  
中田麦 マリンバリサイタル 三善晃、一柳慧の音楽
- 06 Pick Up
- 07 Essay de say — 音楽は国の宝 ～ハンガリアンナイト～ 上田浩子

## デビュー10周年のリサイタルを行う

# パク キュ ヒ 朴葵姫さん



初めて朴葵姫を聴いたのは彼女のデビュー間もない頃、大阪の小さなホールでのこと。演奏中、小柄な彼女がギターを少し立ててネックの辺りに耳を寄せると、それはまるでギターに話しかけているように見えたのを覚えている。粒立ちの整った繊細な音色がとても印象的だった。あれから10年。現代を代表するギタリストに成長した朴葵姫が活動の節目を飾るリサイタルを行う。繊細な響きはそのままだに演奏は風格を増した。トレモロの美しさが語られるが、音色のコントロール全体の巧みさにおいても一流の弾き手のひとりである。録音の充実も見逃せない。特に2012年の『スペインの旅』に始まる一連のCDにはスペイン、南米というギター音楽のルーツや現代作品と向き合った真摯な足取りが、瑞々しい空気感とともに捉えられている。現在2度目のスペイン留学に臨んだ朴葵姫にメールでのインタビューを試みた。たゆまぬ向上心とギターへの情熱に導かれて、のびのびと呼吸する彼女の言葉が返って来た。

(取材・文:逢坂聖也/音楽ライター)

### 朴葵姫(ぱく・きゅひ/ギター)

1985年生まれ。日本と韓国で育つ。3歳で横浜にてギターをはじめ、荘村清志、福田進一、A.ピエリ各氏に師事。東京音楽大学を経て、2014年ウィーン国立音楽大学首席卒業。2016年スペインのアリカンテ・クラシックギターマスターコース首席卒業。05年小澤征爾指揮によるオペラ公演に参加。07年ハインツベルグ国際ギターコンクール第1位及び聴衆賞、08年ベルギー“ギター・の春2008”第1位、リヒテンシュタイン国際ギターコンクール第1位、12年アルハンブラ国際ギターコンクール第1位&聴衆賞、他多くの主要国際ギターコンクールで優勝・受賞。N響、都響、読響はじめ主要オーケストラと共演。録音も多数、18年2年半ぶりの新譜「Harmonia-ハルモニア-」リリース。欧米、アジアのギターフェスティバルへ招かれている。会場中を惹きつける音楽性と、とりわけ美しいトレモロ奏法の技術の高さは各地で絶賛されている。

# 地中海、アlicantより。 自然の癒しを浴びながら音楽と過ごす日々。

今回のスペイン留学の動機について聞かせてください。

スペインがもともと大好きな国だというシンプルな理由と、私は何かを学び吸収するということがとても好きで、今がそれを実現できる良い時期だったので留学を決めました。ギターの歴史のある国ですし、現在もギターのコンサート、ギタリストの活動が盛んな土地でもあります。拠点にするアlicantは3年前の留学でも住んだ場所。とても幸せな時間でした。ここにもう一度住みたいと思ったことも理由の1つです。

**デビューCDのタイトルがスペイン語の『スエニヨ(夢)』でした。朴さんには昔からスペインへの憧れが強く感じられるような気がします。**

小さい頃に聴いていたギターのCDがアンドレス・セゴビアやペペ・ロメロの演奏でしたから「ギターといえばスペイン」という印象があります。ウィーンに留学してからは、大小関わらずスペインのコンクールに挑戦しました。2012年、アルハンブラ国際ギターコンクール優勝を機に(開催地の)バレンシアを中心にスペイン各地へ招かれるようになり、スペインでのコンサートが増えました。そこで知り合ったたくさんの方との出会いにより、多くの情報を得ることもつながりました。そんな中でアlicantの学校の情報を知ったことも、前回や今回のスペイン留学に結びついています。

**ギターは3歳から始められたとうかがっています。どんなきっかけだったのですか？**

ビートルズが好きな母がギターを習いに行った教室が、クラシックギターを教える教室だったのです。私はいつも一緒について行っていたのですがそこに小さなギターがあって、ある時一緒にやってみないか？と誘われて、そこからどんどのめり込んでいきました。

**子どもの頃や10代の頃はどんな風にギターと向き合っていましたか？**

私は幼少期、小学校、中学校の頃まですごく消極的な性格でした。体格も小柄でみんなよりも10センチほど小さかった。外見のせいで自信が持てず、普通の子たちとは違うんだとさらに消極的になっていきました。それを救ってくれたのがギターでした。自分にとってギターを弾くことは小

さい頃から続けていたので日常の一部。ギターを背負うだけでちょっと背が高くなった気がしたし、ギターが弾けるんだということが自信のない自分にとって唯一の救いでした。

**プロのギタリストになってよかったと思うことは？**

いろいろな人の前で演奏してきましたが、私の演奏で救われたと言ってくれる人、癒された、勇気をもたらしたという人がいます。何かを懐かしむ気持ちになったという言葉をいただいたこともあり、そういう時にはすごくやりがいを感じますし、ギタリストだからこそできることだと感謝の気持ちになります。以前医師の方と話した時「医師は責任感を持って人を救う仕事なので尊敬します」と伝えたら、「あなたのギターの方が多くの人を救っているよ」と言われました。もちろん医師の力とは違うけれど、音楽は心を救えるんだなと思いました。

**ディスコグラフィーを見ると、朴さんはスペインの作品と南米の作品に、アルバムごとに集中して取り組んでいる感じがあります。ご自身は、スペインと南米のギター音楽のどちらに惹かれますか？**

どちらかというのは無いですね。どちらも好きです。スペインも南米も楽曲はメロディが美しく、素朴でシンプルだけど心を動かす力があると思います。私はそんなメロディを持った作品がとても好きで、そういう音楽を演奏したいと思っています。ですが1つ違いがあるとすれば、南米の曲のリズムを表すには私はまだ未熟だと思っていること。生まれ持ったリズムの感覚がある南米の人たちに比べたら自分にはまだまだその感覚が足りないな、と感じている点です。

**楽器について教えてください。ステージではどんなギターを使用していますか。また、どんなところがお気に入りですか？**

ちょうど10年ほどダニエル・フレドリッシュのギターを使っています。この楽器の一番好きところは楽器自体がきれいに歌っているところです。すごく音がきれいで、それも単純にきれいなのではなくキラキラしていてメロディとベースのバランスが絶妙。音の伸びが良く、遠くまで音が飛ぶので伝達力が高いのも気に入っている点です。

**朴さんがスペインで見ている景色を教えてください。見るもの、触れるもの、味わうもの、それらが今、**

**朴さんと朴さんの音楽にどんな影響を与えていますか？**

アlicantは地中海に面していて、私の住まいから歩いて30秒くらい先に海があります。涼しくなった頃に砂浜に出て一呼吸したり、早起きした日には日の出を見たりします。特に朝は海辺に人が全然なくて、海を独り占めしたような一番好きな時間。泳げないので海には入りませんが足だけ入れて歩いたり、散歩したり。日の出を見たあと部屋に戻って二度寝したり。こうした中で練習をすると今まで日本で練習していた時より、本当にリフレッシュした良い練習ができた!と思えるのです。携帯電話も見ず、脳を酷使しない生活という感じ。完全に自然からの癒しを受けて練習をするので穏やかに過ごせます。このような日々の過ごし方が練習にいい影響を与えています。音楽に対して今までよりもっと鮮明にイメージを持つことができています。ちなみにスペインは食べ物もおいしくてビールが安いんです。スペインの人は昼間から飲んでるので、私も小さいビールを一杯だけランチに飲んだりして、今はスペインの生活に溶け込もうと試みている時期です。こうやって日々を過ごすことで余裕を持つことができたり、スペインの人のように明るく肯定的に考えることが増えるのでは、と期待しています。

**リサイタルを楽しみにしています。ザ・フェニックスホールへ聴きに来られるお客さまにメッセージを。**

ザ・フェニックスホールは聴きに行ったことしなくて演奏するのは初めてなので、私もとても楽しみにしています。これまでの経験から関西のお客さまにはいつも温かくてアットホームな印象を受けていたので、今回のコンサートでもそんなお客さまにお会いできることを楽しみにしています。響きの素晴らしいザ・フェニックスホールとフレドリッシュの相性にご期待いただけたらと思います。

「朴葵姫 ギターリサイタル」は、2020年3月7日(土)午後3時開演。入場料3,500円(指定席)、友の会3,150円。学生1,000円(限定数。ザ・フェニックスホールチケットセンターのみお取り扱い)。チケットのお求め、お問合せは同センター(電話06-6363-7999 土・日・祝を除く平日10時~17時)。  
[プログラム]  
パリオス:大聖堂  
S. デ・ラ・マーサ:サパテアード  
グラナドス:詩的フルツ集  
ウォルトン:5つのバガテル ほか(予定)



**11月30日(土)**  
10:00 受付開始  
ザフェニックスホール  
友の会優先予約

**12月2日(月)**  
10:00 受付開始  
イーフェニックス  
E-PHX優先予約

**12月3日(火)**  
10:00  
一般発売  
インターネット予約、ご来店による  
お申込みは12月4日(水)10:00から!

# 2020年度 ティータイムコンサートシリーズ [141]~[147]



フェニックスならではの、スペシャル・マチネ。通し券なら、1回約2,800円

金曜の午後、上質な音楽をおいしいお菓子・お飲み物と共にお届けするティータイムコンサート。都心に立地し、抜群の交通アクセスで関西一円から多くの皆様においでいただけるホールの特性を生かし、1995年のホール開設以来、お楽しみいただいています。2020年度は7公演。室内楽の様々な形態をバラエティ豊かにラインナップしました。ハンガリーを代表する世界的ピアニストを始め、期待の若手から熟練のベテラン奏者まで、自信のアーティストがずらりと並ぶフェニックスだけの「スペシャル・マチネ」をお楽しみ下さい。

いずれも金曜日 14:00開演 指定席 お茶・お菓子つき

年間通し券 全7公演

一般 ¥24,000

友の会会員 ¥20,000  
(お一人様2席まで)



※1公演毎のご購入も可能です。

■学生券の取扱いについて■

2020年4月の公演より学生券の取扱いを、「学生かつ25歳以下の方」と変更させていただきます。ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

**142** 燃え上がる蒼い熱情、シューベルト最後のソナタ  
古海行子 ピアノリサイタル

2020年6月5日(金)

一般3,000円(友の会会員2,700円)  
学生(25歳以下)1,000円(限定数)

●出演●古海行子(ピアノ)

●曲目●

モーツァルト: ロンド イ短調 K511

シベリウス: 悲しきワルツ op.44-1

ショパン: スケルツォ 第2番 変イ短調 op.31

バラード 第1番 ト短調 op.23

シューベルト: ピアノソナタ 第21番 変イ長調 D960 (予定)



2018年第4回高松国際ピアノコンクールにおいて日本人として初めて優勝した古海行子。幼少の頃より数々のコンクールで優勝を重ね、今、最も注目されているピアニストの一人です。内に秘めたる膨大な熱量を暴走させることなく、音符を正確にピアノに落とし込んでいく様はまさに圧巻で、これからが本当に楽しみな逸材です。メインで演奏するのはシューベルト最晩年のピアノソナタ。晩年と言っても31歳。創作意欲も旺盛だった時期であり、美しい旋律に彩られた耳馴染みの良い作品です。若さ溢れる演奏にご期待ください。

**143** 稀代のチェリストが奏でる浪漫の世界

オーレン・シェヴリン チェロリサイタル

2020年7月10日(金)

一般4,000円(友の会会員3,600円)  
学生(25歳以下)1,000円(限定数)

●出演●オーレン・シェヴリン(チェロ)、  
芦川真理子(ピアノ)

●曲目●

シューマン: 民謡風の5つの小品集 op.102

グリーグ: チェロソナタ イ短調 op.36

ブラームス: チェロソナタ 第1番 ホ短調 op.38

ピアソラ: ル・グラン・タンゴ (予定)



ロストロポーヴィチ国際チェロコンクール第2位グランプリをはじめ、数々の国際コンクールで輝かしい成績を収めている実力派チェリスト、オーレン・シェヴリン。今回は長年のパートナーである芦川真理子と共にロマン派の名曲を中心にプログラム。特にグリーグのチェロソナタは演奏の機会が少ない作品ですが、起伏に富んで歌謡性に溢れており、ノルウェーの舞曲が取り入れられているなど、グリーグならではの作品です。名手たちの演奏にご期待ください。

## ホール主催・共催・協賛・協力公演チケットのお申し込み方法

06-6363-7999

土・日・祝日を除く平日の10:00~17:00  
11/30(土)はディertime発売日のため特別営業

- ザ・フェニックスホール友の会優先予約
  - ・ザ・フェニックスホール友の会会員の優先予約日です(電話予約のみ)。
  - ・主催公演1公演につき会員お1人様2枚まで1割引でお求めいただけます。チケット購入の際、枚数制限はありませんが、3枚目以降は一般価格となります。
  - ・友の会への入会をご希望の方は、チケットのお申込み時にお電話でお申しつけください。同時に優先予約をお受けすることができます。その際、年会費1,000円が別途必要となります。
- E-PHX(イー・フェニックス)優先予約
  - ・E-PHX(イー・フェニックス)にご登録の方の優先予約日です(電話予約のみ)。
  - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。
  - ・事前にザ・フェニックスホールホームページ、ホール会員のページからご登録ください。お電話でのご登録はできません。
- 一般発売
  - ・一般発売日は、電話予約のみのお申込みとなります。
  - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。

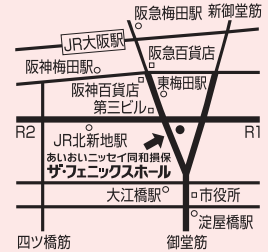
https://phoenixhall.jp/

チケットセンターのページからお申込みください

- インターネット予約(主催公演のみ)
  - ・ザ・フェニックスホールホームページ、チケットセンターのページからお申込みください。
  - ・チケット予約フォームに記載のない公演につきましてはおそれ入りますがお電話でお問合せください。
  - ・ホームページ更新の都合により、完売表示のない公演でもお申込み時には完売となっていることもございます。どうぞご了承ください。
  - ・学生券のインターネットによるご予約は受付いたしておりません。
  - ・チケットご予約フォーム送信後、営業日3日以内に座席の有無、座席番号、入金方法につきまして確認メールをお送りいたします。

直接のご来店による  
お申込み

- ・ザ・フェニックスホールチケットセンターはホール建物8階、エレベーターを降りて廊下右手です。



チケットお申込み後のお受け渡し方法 下記①または②のどちらかとなります。

- ①お申込み日から10日以内にザ・フェニックスホールチケットセンターへご来店ください。営業時間は土・日・祝日を除く平日の10:00~17:00です。
- ②先に郵便振込みをしていただき、入金確認後チケットをご郵送させていただきます。皆様のお手元にチケットが届きますのはご入金をいただいてから約10日後となります。その際、振込手数料はお客様にてご負担ください。尚、郵送は簡易書留(一律420円)のみとさせていただきます。

振込口座 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール

144 ドイツ拠点の本格派カルテットと天才オーボイスト、奇跡の共演

ロータス・カルテット  
with フィリップ・トンドゥル

2020年10月23日(金)

一般4,000円(友の会会員3,600円)  
学生(25歳以下)1,000円(限定数)

- 出演●小林幸子、マティアス・ノインドルフ(以上ヴァイオリン)、山崎智子(ヴィオラ)、齋藤千尋(チェロ)、フィリップ・トンドゥル(オーボエ)

- 曲目●  
モーツァルト:弦楽四重奏曲 八長調 K157  
チャイコフスキー:弦楽四重奏曲 第1番 八長調 op.11  
武満徹:アントゥル=タン 〜オーボエと弦楽四重奏のための(1986)  
モーツァルト(P.トンドゥル編):弦楽五重奏曲 第4番 ト短調 K516 (予定)

ロータス・カルテットは日本で結成され、クラシック音楽の本場ドイツで、第一線の活躍を25年以上も続ける唯一無二の本格派弦楽四重奏団。共演するのは若年18歳でシュトゥットガルト放送交響楽団首席オーボエ奏者に就任し、その後ミュンヘン国際音楽コンクールで優勝するなど天才の名を欲しいままにするフィリップ・トンドゥル。この滅多にない組み合わせで演奏するのは双方が得意とするモーツァルトの弦楽五重奏曲。至上の音楽を堪能してください。



145 ミュンヘン国際音楽コンクール優勝! 意気衝天のピアノトリオ

## 葵トリオ

2020年11月20日(金)

一般3,000円(友の会会員2,700円)  
学生(25歳以下)1,000円(限定数)

- 出演●小川響子(ヴァイオリン)、伊東裕(チェロ)、秋元孝介(ピアノ)

- 曲目●  
ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲 第4番 変ロ長調「街の歌」op.11  
細川俊夫:メモリー - 伊伊奈の追憶に-(1996)  
ラヴェル:ピアノ三重奏曲  
メンデルスゾーン:ピアノ三重奏曲 第2番 八短調 op.66 (予定)

全員が関西出身。今、世界から最も注目を集めている若手ピアノトリオがザ・フェニックスホールに初登場。「類まれなほど多才であり、優れた洞察力を伴った演奏を披露」と評されたように、日本のみならず世界での活躍が期待されています。プログラムも、ベートーヴェンが若い頃に書いた澁刺とした作品から、ロマン派、近代、そして現代作品まで幅広く選曲。まさに名刺代わりのコンサートとしての意気込みを感じさせられます。要注目です!



146 フィッシャー=ディースカウの後継者、盟友と紡ぐ「冬の旅」

ディートリヒ・ヘンシェル  
バリトンリサイタル

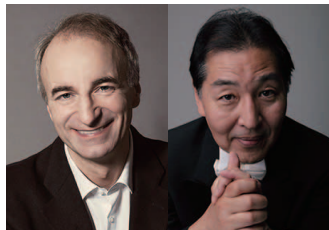
2020年12月4日(金)

一般4,000円(友の会会員3,600円)  
学生(25歳以下)1,000円(限定数)

- 出演●ディートリヒ・ヘンシェル(バリトン)、岡原慎也(ピアノ)

- 曲目●  
シューベルト:歌曲集「冬の旅」 op.89 D911 (予定)

「冬の旅」は、シューベルト三大歌曲のうち最も人気の高い歌曲です。ドイツの詩人ヴィルヘルム・ミュラーの詩によるもので、恋に破れた若者が、街を捨てて絶望の果てに「死」を求めてさすらう物語。名匠ディートリヒ・フィッシャー=ディースカウの後継者と称され、リート歌手としての評価も極めて高いディートリヒ・ヘンシェルが、圧倒的な表現力でお贈りします。ピアノは、日本ドイツリート協会の会長でもあり、長く彼のパートナーを務めている岡原慎也。ドイツリートの世界に浸る冬を是非。



147 世界のイマイが絶賛。次代を担うスーパー・ヴィオリスト

今井信子presents  
ティモシー・リダウト & 今井信子  
ヴィオラデュオリサイタル

2021年1月22日(金)

一般3,500円(友の会会員3,150円)  
学生(25歳以下)1,000円(限定数)

- 出演●ティモシー・リダウト、今井信子(以上ヴィオラ)

- 曲目●  
アラン・リダウト:はなのすぎなうし  
ブリッジ:2つのヴィオラのためのラメント  
ターティス:2つのヴィオラのためのヘンデルのパスカルリアによる変奏曲  
ルクレーレ:2つのヴァイオリンのためのソナタ集より(ヴィオラによる演奏) ほか(予定)

ヴィオラの世界を牽引する今井信子に師事し、今、飛ぶ鳥を落とす勢いで活躍するティモシー・リダウト。2016年、世界3大ヴィオラコンクールの一つであるライオネル・ターティス国際ヴィオラコンクールでイギリス人として初めて優勝するなど、多くの国際コンクールで入賞を重ね、その才能を開花させています。今回のコンサートでは今井との豪華な師弟共演が実現。ヴィオラ二重奏による名曲をお届けするとともに、それぞれのソロ演奏も存分にお楽しみいただけます。是非、ご期待ください。



■注目アーティストシリーズ73

2020年5月10日(日)

15:00開演 指定席

一般¥4,000(友の会会員¥3,600)

学生(25歳以下)¥1,000(限定数)

出演 ジョヴァンニ・ソッリマ(チェロ)



©Masataka Ishida

チェロは歌う! 唯一無二、規格外の巨匠、待望の単独公演  
ジョヴァンニ・ソッリマ チェロリサイタル

曲目 J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007

無伴奏チェロ組曲 第3番 ハ長調 BWV1009

ソッリマ:ナチュラル・ソングブック 第4番、第6番

ラメントチオ

ファンダンゴ(ボッケリーニへのオマージュ)

ジュリオ・デ・ルーヴォ:ロマネッラ、チャッコーナ、タランテッラ

フランチェスコ・コルベッタ(ソッリマ編):カプリス・デ・シャコンヌ

シチリアのアルバニア系住民に伝わる伝承曲(ソッリマ編):美しきモレア

\*プログラムは変更の可能性があります。

“一匹の美しき野獣”と評されるソッリマの演奏は、骨太でまさに自由闊達。一見するとと激情に任せ無謀な演奏のように思えますが、その実は理性と知性に裏付けされた確信に満ちた迫力の演奏です。今回はチェロ曲の定番であるバッハのチェロ組曲第1番、第3番を中心に実に多彩なプログラムとなっています。特にソッリマのオリジナル曲は、極限までチェロを使いこなす超絶技巧、どこか異国を感じさせる情緒溢れる旋律など、非常に特徴的で魅力に溢れており、多くのチェリストから支持され演奏されるほどの人気曲。是非、この機会にお聴きください。

ジョヴァンニ・ソッリマ(Giovanni Sollima/チェロ)

1962年イタリア生まれ。世界最高峰のチェロ奏者兼作曲家。ジャンルを超えた幅広い活動で知られ、クラシックはもちろん、ジャズ、ロック、即興演奏まで弾きこなし、圧倒的な表現力と高純度の感性で美しい広大なスケールの音楽を生み出し続けている。これまでにヨーヨー・マ、フィリップ・グラス、クラウディオ・アバドなど数多くの巨匠と共演。近年ではマリオ・プルネロや2CELLOSをはじめ、世界中のチェリストがソッリマの楽曲をレパートリーにしており、チェロの可能性を広げているだけでなく、作曲家と演奏者の垣根も取り外しつつある。後進の育成にも力を注いでおり、サンタ・チェチーリア音楽院で教鞭をとっている。

■フェニックス・エヴォリューション・シリーズ92

主催 中田麦 マリンバリサイタル事務局

2020年5月23日(土)

15:00開演 自由席

一般前売¥3,000(友の会会員¥2,700)

一般当日¥3,500(友の会会員¥3,150)

学生前売¥2,000 学生当日¥2,500

※友の会割引は1会員2枚まで。

※学生券は大学生以下の方対象。

気鋭のマリンバ奏者、中田麦による三善晃、一柳慧の音楽。  
二人の作曲家の音世界を聴く

中田麦 マリンバリサイタル 三善晃、一柳慧の音楽

出演 中田麦(マリンバ)、崔理英(ピアノ)

曲目 三善晃:組曲「会話」、リップル、トルスIII

一柳慧:森の肖像、源流、パガニーニ・パーソナル

当リサイタルは、日本を代表する作曲家である三善晃と一柳慧のマリンバ作品に光を当てる。三善晃のマリンバ作品は、三善の書いた非常に精緻な音がマリンバの硬質な音色と相まって独特な精神世界を形成する。楽譜には不要な音はひとつもなく、「それしかない音」が書き記されている。その音楽は内と外へ向かっていく二つのエネルギーが危ういバランスを保ち、聴き手の心を離さない。対して一柳慧のマリンバ作品は、「不確定性の音楽」などの実験音楽を経た一柳が再び定量記譜による楽譜での作曲を始めた頃の作品であり、伝統と現代、西洋と東洋、時間と空間、それぞれの融合・共存をテーマにしている。「音楽でもあり実験でもある」という一柳のスタンスは、音楽を精神的なものであろうとする重みから解放して軽やかなものになっている。気鋭のマリンバ奏者、中田麦が二人の音世界を提示する。



中田麦(なかつた・まき/マリンバ)

6歳から和太鼓、9歳からマリンバを始める。京都市立音楽高等学校(現・京都市立京都堀川音楽高等学校)を経て、京都市立芸術大学音楽学部入学。打楽器・マリンバを大西由利子、種谷睦子、伊藤朱美子、宅間齊、山本毅の各氏に師事。第28回、第31回日本管打楽器コンクールマリンバ部門第2位。2011年、12年、16年には青山音楽記念館にてソロリサイタルを開催。2012年度青山音楽賞新人賞受賞。ソロリサイタルでは新作初演を含む現代作品の演奏に力を入れており、特に邦人作品の演奏を得意としている。その他に映像や演劇のための音楽制作も積極的に行っている。



崔理英(さいりえ/ピアノ)

京都市立音楽高等学校(現・京都市立京都堀川音楽高等学校)、東京藝術大学音楽学部器楽科を経て、同大学院修士課程を修了。第26回飯塚新人音楽コンクール大賞、併せて文部科学大臣賞など3賞受賞、日本演奏連盟推薦新人オーディションに合格。大学在学中から演奏活動を開始し、ショパン・ラフマニノフ・プロコフィエフなどの協奏曲を共演。関西で定期的にソロ・デュオの演奏を行い、近年は現代作品や新作の演奏、各地の小・中学校でのアウトリーチ活動にも力を入れるなど、さまざまな演奏会に出演している。現在、京都市立京都堀川音楽高等学校非常勤講師。

## あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛公演のご案内

ザ・フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

協賛公演 **Duo Kalypso** 主催 大阪アーティスト協会

発売中

2020年2月23日(日) 14:30開演 自由席 一般前売¥3,500(友の会会員¥3,150) 一般当日¥4,000(友の会会員¥3,600)  
学生前売¥2,000 学生当日¥2,500

出演 李早恵(ピアノ)、ミーハ・ロギーナ(サクソフォン)  
曲目 サイ:組曲〜アルト・サクソフォンとピアノのための op.55  
ヒンデミット:ヴィオラとピアノのためのソナタ op.11-4  
R.シュトラウス:ヴァイオリンソナタ 変ホ長調 op.18 ほか

2010年度の「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ」以来、10年ぶりにDuo Kalypsoが、ザ・フェニックスホールの舞台上に登場します。鬼才ファジル・サイの、トルコのエキゾチックな雰囲気をまさに体現するサクソフォンとピアノのための組曲や、青春の煌めきに満ちたロマン薫るリヒャルト・シュトラウスのヴァイオリンソナタなど、スケールの大きい息ぴったりの演奏をお楽しみください。



協賛公演 **KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka** 主催 コジマ・コンサートマネジメント

11/28(水) 発売

原田英代(ピアノ) “ドイツとロシアの響宴〜精神性と哀愁と〜”  
2020年3月24日(火) 19:00開演 指定席 一般前売・当日¥4,500(友の会会員¥4,000) ※友の会割引は前売のみ。

出演 原田英代(ピアノ)  
曲目 ベートーヴェン:ピアノソナタ 第31番 変イ長調 op.110 シューマン:ダヴィッド同盟舞曲集 op.6  
チャイコフスキー:組曲「四季」op.37bより “1月 炉端にて”、“2月 謝肉祭”、“4月 松雪草”、“6月 舟歌”  
“8月 収穫の歌”、“10月 秋の歌”  
ラフマニノフ:ピアノソナタ 第2番 変ロ短調 op.36

ドイツ音楽とロシア音楽。両方とも世界で愛されていますが、その音楽の違いには驚かされます。ロシア音楽はドイツ音楽に鼓舞されて花開きましたが、そこにロシア特有の“メランコリー”と“熱狂”が加味され、新たな音楽の世界を築きました。リサイタルでは、その双方の美しさを味わっていただくと嬉しく思います。(原田英代)



協力公演 **非破壊検査ニューイヤーコンサート2020「ローマ春のスオーノ」** 主催 読売テレビ

11/25(月) 発売

2020年1月9日(木) 19:00開演 指定席 S席(1階席)前売・当日¥9,000(友の会会員¥8,100) A席(2階席)前売・当日¥7,000(友の会会員¥6,300)  
※1階席は丸テーブルでワインを飲みながらお楽しみいただけます。2階席は開演前と休憩時にロビーにてワインを楽しんでいただけます。  
※S席のご購入は一人様4枚まで。 ※発売スケジュールの詳細は同封のチラシをご覧ください。

出演 クリスティーナ・バックラツハ(ソプラノ)、榛葉樹人(テノール)、今井俊輔(バリトン)、アヴォス・ピアノ・カルテット(ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)  
曲目 ブッチーニ:「ラ・ボエーム」より “私が街を歩けば”、“ジャンニ・スキッキ”より “私のお父さん”  
ヴェルディ:「リゴレット」より “慕わしき人の名は”、“ラ・トラヴィアータ(椿姫)”より “乾杯の歌”  
バーンスタイン:「ウエスト・サイド・ストーリー」より “トゥナイト” A.L.ウェバー:「オペラ座の怪人」より “シンク・オブ・ミー” 瀧廉太郎:「荒城の月」 ほか

## 友の会事務局よりお知らせ

## 友の会年会費のお支払いはぜひ

## 口座振替

をご利用ください

年会費(1,000円)は、便利でお得な口座振替をご利用いただけます。

手数料無料。ホールや郵便局にお出向いただく手間も省けます。

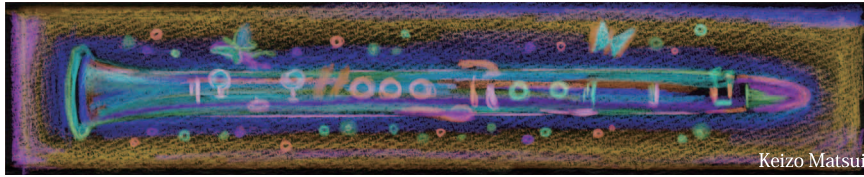
ご更新月を迎えられる会員様に順次、ご案内をお送りいたします。ぜひこの機会にご検討ください。

振替手続には金融機関等の登録のため、申込受領後、2カ月ほど要します。予めご了承くださいませ。

■お問合せ■ ザ・フェニックスホール友の会事務局 TEL 06-6363-7600 (平日のみ 10時から17時まで)

2019年度「エッセイでっせ」(全6回)は、「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ」に過去出演された方々にご登場いただきます。現在の活動の様子をご紹介いただくとともに、音楽に対する想いをテーマにご執筆いただく予定です。

## 音楽は国の宝 ～ハンガリアンナイト～ — 上田浩子



Keizo Matsui

さて、今日のレッスンも終わった。まずは一旦家に帰って楽器を置き、ブダペストコンサートガイドを見ながら軽く夕食。うわっ、今日はイッサーリス来てる！これはコンサートに行かねば！

貧乏留学生だったので、ボロボロの服しか持ち合わせが無かったが、その中でも少しでも少しだけマシなシャツに着替え、地下鉄として唯一世界遺産に登録されている、遊園地の乗り物のようなメトロ1号線に乗って、英雄広場からオクトゴン(4駅乗車、所要時間4分)へ。1ブロック早足で歩いてリスト音楽院大ホール到着。

リスト音楽院の学生は、いつでも無料でコンサートが聴けるのだ。国立歌劇場でのオペラも安い席なら当時は200円ほど。コンサートが好き過ぎて音楽評論家になりたいと思っていた私にとって、こんな幸せなことはない。毎日毎日極上のコンサートを聴いた。私が留学していた当時(1998年～2001年)は、海外からのオーケストラやハンガリー国立響、放送響、ブダペストフェスティバルオーケストラなどの定期公演は、ほとんど全てリスト音楽院大ホールで行われていた。現在は、2005年に完成したブダペスト芸術宮殿(ペラ・バルトク国立コンサートホール)などでも行われている。

学友に「エイサカイピランゴ(夜の蝶)」と呼ばれていた。日本では別の意味があるので一瞬ドキッとしたが、理由を聞くと、単に夜になると何処かに消えて居なくなってしまうかららしい。何てことはない、ほぼコンサート、たまにオペラ、ごくたまにクレズマライブに行って、その後リスト広場のオープンカフェでコンサートの興奮を冷ましていただけである。その生態？は日本でも同じで、学生時代もアルバイト代を握りしめ、シーズン中は週2、3回のペースでコンサートに通っていた。当時住んでいた神戸の自宅は、大阪まで2時間近くかかる為、セラー服のまま夜遅い電車に乗っていると、見ず知らずのほろ酔いおじさんに「こんな時間まで何しとるんだ！」とよく怒鳴られた。

ハンガリーは音楽が国の宝だという。確かに街の至る所に音楽家の名前が付けられている。空港はリスト・フェレンツ(フランツ・リストのハンガリー名)国際空港だし、ブダペストからウィーン・ザルツブルク・ミュンヘンを経由してフランクフルトに行く列車の名もバルトク・ペラ号。国民の娯楽はオペラ、オペレッタ、バレエ、ミュージカル、コンサート…

たまに温泉、ビリヤード、ピンが上から紐で吊り下げられたボーリング。

15世紀頃から、ハンガリー国王がロマ(ジプシー)が奏でる演奏を寵愛し、王宮で演奏させていたことから、ハンガリー貴族達も挙ってヴァイオリンも弾けるロマ達を他の仕事と兼業させながら雇っていた。身形、身分等は関係無く、素晴らしい音楽をする人達を認め、愛していた。現代もハンガリー国民の殆どが、国籍・経歴などに全く左右されることなく、音楽の良し悪しを判断して聴く力を持っている。素晴らしい演奏に対しては、まるでジャニーズやAKBのコンサートのような黄色い声援や万雷の拍手を送り、マズければ、著名な演奏家であっても、遠慮なくさざと席を立てて出ていってしまう。

何ととってもハンガリーの演奏会での拍手が面白い！何故か観客全員の拍手が段々パン、パン、パンと揃ってきてアッチェルランド(だんだん速く)がかかる。そして速くなりすぎたらまたゆっくりに戻ってまたアッチェルランド…初めてこの拍手を体感した時は、何でこんなに揃うんだ？と驚愕したが、3年経ったらもう慣れたもので、それが無い今では拍手の手が少し寂しく感じる。

帰国して日々仕事に追われるようになった今でも、かなりの頻度で演奏会へ足を運ぶ。決して演奏家だからではなく、もし他の職業に就いていたとしても、同じように通っていると思う。一曲一曲に様々なドラマがあり、演奏家一人一人に違った魅力があり、その日その瞬間を共有しに行くのだ。私にとっては紛れもなく音楽こそが何物にも代え難い宝である。勿論、家族や友人、生徒や音楽仲間はキンチェム(Kincsem、ハンガリー語で私の宝物。夫婦や恋人、我が子に対して呼ぶ時にも使う)です。

最近クラシック音楽が題材になった小説や映画、アニメも幅広い世代に共感を得ている。演奏会後のアンケートやTwitterにも「クラシックの生演奏初めて聴きましたが、何故か涙が溢れてきました。」「明日からまた頑張ろうって思えます！」

喜びや悲しみを分かち合う音楽、気持ちを高揚させてたり落ち着かせてくれる音楽。辛かった事やしんどい事を忘れさせてくれる音楽。どうか日本にももっと多くの国民に音楽のある生活が浸透しますように。

上田浩子(うえだ・ひろこ)/クラリネット奏者

大阪音楽大学卒業。同大学教育助手を務めた後、ハンガリー国立フランツ・リスト音楽院に留学。ソリスト、室内楽奏者、オーケストラ奏者としての研鑽を積み、2001年に帰国。帰国後は国内外の音楽祭に出演の他、テーマに沿ったソロリサイタル「Hungarian Night～ハンガリー音楽の夕べ」(フェニックス・エヴォリューション・シリーズ)、「晩年ブラームスの奇跡」(オペラハウス推薦リサイタル)、「クラリネット・フュージョン」Impressions」源流と派生」などを開催し、好評を博す。また、オーケストラや吹奏楽団への客演も多く、定期公演、新作初演、録音・録画にも携わる。現在、大阪音楽大学、神戸女学院大学、(株)ビュッフェ・克蘭ボン・ジャパン各講師。



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8F TEL 06-6363-0211

Copyright(C) 2011 The Phoenix Hall All rights reserved. 本誌に掲載された記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。

発行年月 2019年11月  
発行 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール  
編集 諸藤修一  
デザイン 松井桂三有限公司

